

ヨーロッパとの電波の架け橋

登録番号	第00007号		
登録年月日	平成20年10月9日	登録区分	第二種

名称 (型式等)	依佐美送信所送信装置 一式
所在地	愛知県刈谷市 依佐美送信所記念館
所有者 (管理者)	刈谷市
製作者(社)	テレフンケン社設計、A E G 社製他
製作年	1927～1929年
選定理由	建設当時、世界最大出力を誇った長波のモールス信号伝送方式の通信施設である。当初ヨーロッパ向けの通信に使われた。水中へも伝播するという長波の特性を利用して戦時中は潜水艦への通信に使われた。また、「ニイタカヤマノボレ」の歴史的電文の送信に使われたといわれている。昭和の日本の海外向け公衆通信・軍事通信に使われ、日本の命運の生き証人でもある。
登録基準	二一八（社会、文化と科学技術の関わりにおいて重要な事象を示すもの）

公開・非公開	公開
写真	
その他参考となるべき事項	